

令和 8 年度愛媛県県立高等学校入学者選抜の結果概要について

I 令和 8 年度愛媛県県立高等学校入学者選抜の実施状況

1 期日

- (1) 特色（面接・作文等） 令和 8 年 1 月 30 日（金）
- (2) 一般（学力検査等） 令和 8 年 3 月 5 日（木）・6 日（金）
- (3) 追検査（学力検査等） 令和 8 年 3 月 13 日（金）
- (4) 定時制 2 次（学力検査等） 令和 8 年 3 月 30 日（月）

2 志願者・合格者数等

区 分	全 日 制	定 時 制		
		1 次募集	2 次募集	合 計
志 願 者 数	7,468 名	166 名	27 名	193 名
受 検 者 数	7,449	160	26	186
合 格 者 数	7,157(2,440)	153(40)	19	172

注 1 （ ）内の数値は特色入学合格者数で内数である。

2 定時制の志願者数、受検者数の合計は、それぞれ延人数である。

II 学力検査の成績概況

全受検者の平均点（全日制の課程）

年月 \ 教科	対象	国語	社会	数学	理科	英語	5 教科計
8 年 3 月	4,994人	27.6	31.4	27.6	24.0	29.2	139.8
7 年 3 月	5,552	27.6	28.9	27.7	28.1	27.5	139.8
6 年 3 月	6,143	27.7	27.7	27.7	22.8	25.4	131.3
5 年 3 月	6,434	25.8	29.0	23.1	27.8	23.9	129.6
4 年 3 月	6,468	30.3	29.1	26.5	25.7	28.8	140.4
3 年 3 月	6,073	31.3	29.6	26.1	25.6	27.7	140.3
2 年 3 月	6,456	30.0	30.6	26.1	23.7	27.7	138.1
31年 3 月	7,015	28.4	24.9	25.0	24.7	27.4	130.4
30年 3 月	6,989	30.6	29.6	24.7	23.7	32.1	140.7
29年 3 月	7,183	25.8	26.6	28.6	26.7	26.3	134.0

注 各教科50点満点

愛媛県県立高等学校入学者選抜

学力検査結果概要

令和 8 年 度

愛媛県教育委員会事務局指導部高校教育課

目 次

I 全体的考察

1 学力検査問題作成の基本方針	1
2 成績概評	1
3 今後の留意点	1
4 成績概況（全日制の課程）	2
（平均点・得点相対度数分布表・得点相対度数分布図）	
（参考）学力検査の日程	5

II 各教科ごとの考察

1 国 語	6
2 社 会	8
3 数 学	10
4 理 科	12
5 英 語	14

付 学力検査問題	16～42
----------------	-------

I 全 体 的 考 察

1 学力検査問題作成の基本方針

学力検査問題の作成に当たっては、学習指導要領の趣旨に添って、中学校における平素の地道な学習活動の成果を適切に評価することができるよう配慮するとともに、高等学校教育を受けるに足る能力・適性等を正しく判定する資料を得ることをねらいとした。

そのため、各教科とも、特に次の点に留意した。

- (1) 中学校学習指導要領に示されている各教科の内容の基礎的・基本的事項を精選して出題した。
- (2) 単に知識の量だけを問う検査とならないよう留意し、論理的な思考力や総合的な判断力、表現力等を十分評価することができるよう配慮した。
- (3) 問題形式は、できるだけ記述式を多くすることに努め、選択肢法等を併用する場合にも、適切な設問となるよう配慮した。
- (4) 受検者の負担が過重にならないように、問題の量についても配慮し、考える時間を十分与えるよう努めた。

2 成績概評

各教科の成績については、それぞれの教科のところで記述するので、ここでは全般的なことについて述べる。

各教科の平均点は、いずれも5～6割程度の数値となっており、どの教科も基礎的・基本的事項の定着が見られるなど、中学校における日頃の学習活動の成果がうかがえた。

受検生は、各教科ともじっくりと考えて問題に取り組んでいる様子がうかがえるが、論理的な思考力や総合的な判断力、表現力等が求められる問題や記述式の問題では、正答率がやや下がる傾向がある。思考の過程を大切に、筋道立てて考える態度を養うとともに、自分の考えをまとめ、条件に従って適切に表現する力の育成について、継続した指導に努めていただきたい。

今後とも、中学校、高等学校両方の各教科の指導において、学習指導要領の目指す学力観に立って、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るとともに、教科等横断的な学習や言語活動を充実させ、見通しを持って論理的に思考する力、資料を適切に活用して判断する力、自分の意見を根拠に基づいて適切に表現する力等が一層養われることを期待したい。また、体験活動やICTを活用した学習活動を充実させ、生徒の興味・関心を生かして自主的、自発的な学習を促すことにより、主体的に学習に取り組む態度を養い、「確かな学力」の育成が一層図られるよう、指導の工夫を期待したい。

3 今後の留意点

学力検査の結果から、次のような点に留意した学習指導の充実を期待したい。

- (1) 中学校においては、生徒に学習習慣を十分身に付けさせ、学習指導要領の各教科の目標及び内容を踏まえて基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るとともに、体験活動やICTを活用した学習活動を充実させることによって、習得した知識及び技能の活用を図り、論理的に思考する力、総合的に判断する力、思考・判断の結果を条件に従って適切に表現する力等を育成する指導が継続して行われることを期待したい。

また、各教科の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れ、自ら進んで学習する態度を育むための指導を期待したい。

さらに、生徒一人一人の学習状況を適切に評価し、生徒の学習意欲の向上に生かすとともに、生徒の興味・関心に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などを取り入れ、学力の定着、伸長がなお一層図られるよう、指導方法や指導体制の工夫・改善が行われることを期待したい。

- (2) 高等学校においては、この学力検査の結果を的確に分析した上で、多様な生徒の実態に即して、生徒一人一人の個性を生かし、その能力を十分に伸ばすことができるよう、個別最適な学びの充実を図るとともに、必要に応じて学校設定教科・科目を開設するなどの工夫を行い、義務教育段階での学習内容を含めた基礎的・基本的な内容の確実な定着が図られるよう一層努めていただきたい。

また、各教科において、観察・実験をした結果を基にレポートを作成する、文章や資料を読んだ上で、知識や経験に照らして自分の考えをまとめて論述するなど、それぞれの教科の知識及び技能の活用を図る学習活動を充実させるとともに、教科等の枠を超えた横断的・総合的な課題を解決するといった探究活動の質的な充実を図るなど、生徒の思考力、判断力、表現力等の育成を図るための指導方法や指導体制の一層の工夫・改善を期待したい。

さらに、指導と評価の一体化を図る取組を進めるとともに、自己の将来を具体的に見据えさせる機会を提供し、その過程を通して、生徒の学ぶ意欲を喚起し、社会人として必要とされる知識及び技能、資質・能力を身に付けさせることができるよう、学習指導の一層の充実及び授業改善を期待したい。

4 成績概況（全日制の課程）

- (1) 全受検者の平均点

教 科	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	5教科計
平 均 点	27.6	31.4	27.6	24.0	29.2	139.8

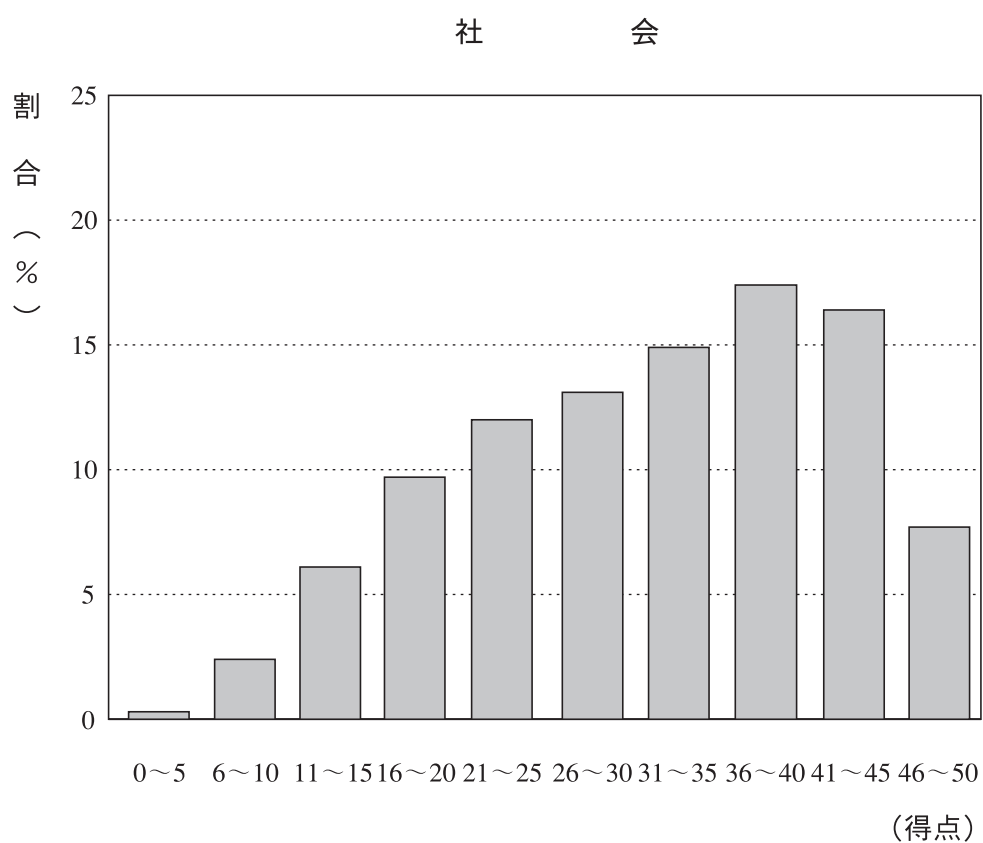
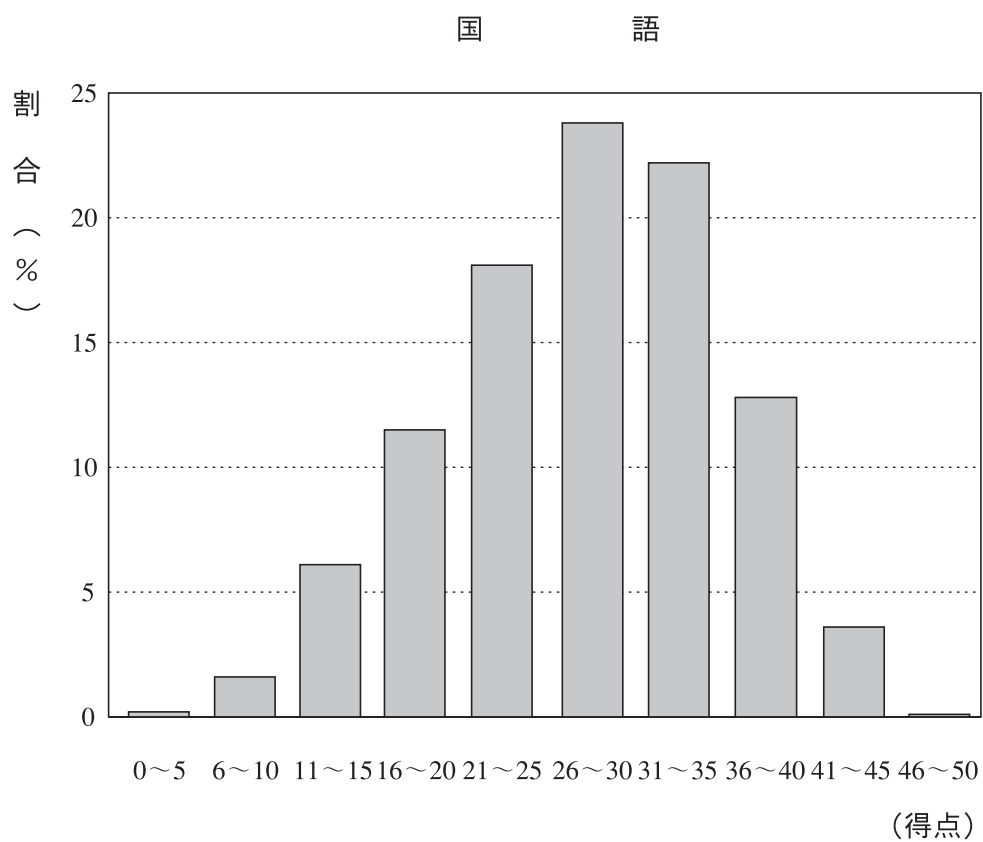
（各教科50点満点）

- (2) 各教科別得点相対度数分布表

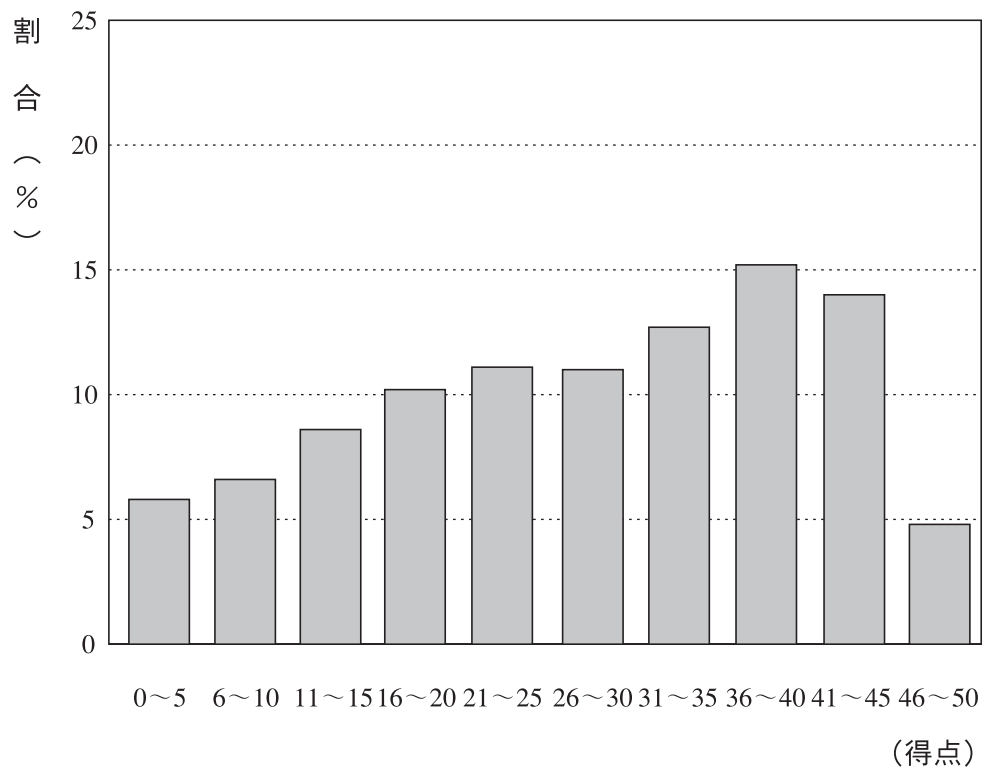
階 級 \ 教 科	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語
46 ～ 50	0.1	7.7	4.8	1.4	9.9
41 ～ 45	3.6	16.4	14.0	5.5	15.6
36 ～ 40	12.8	17.4	15.2	9.7	13.1
31 ～ 35	22.2	14.9	12.7	13.6	11.4
26 ～ 30	23.8	13.1	11.0	14.6	9.9
21 ～ 25	18.1	12.0	11.1	15.3	9.2
16 ～ 20	11.5	9.7	10.2	14.3	10.7
11 ～ 15	6.1	6.1	8.6	13.9	12.4
6 ～ 10	1.6	2.4	6.6	10.0	6.8
0 ～ 5	0.2	0.3	5.8	1.7	1.0

（単位：％）

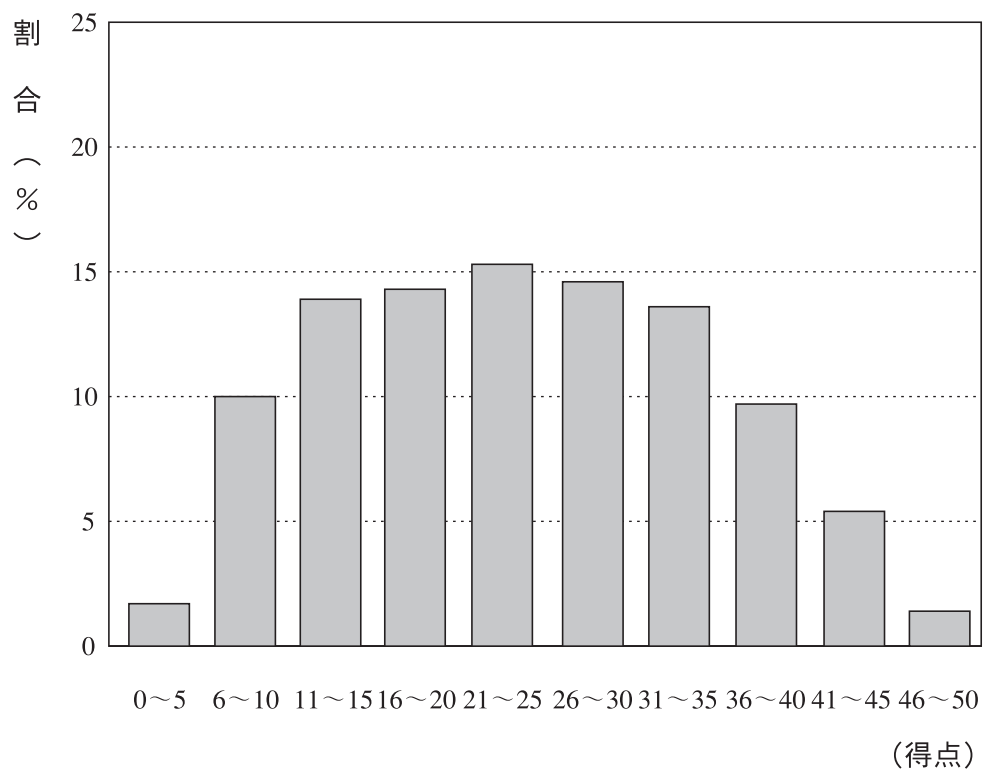
(3) 各教科別得点相対度数分布図



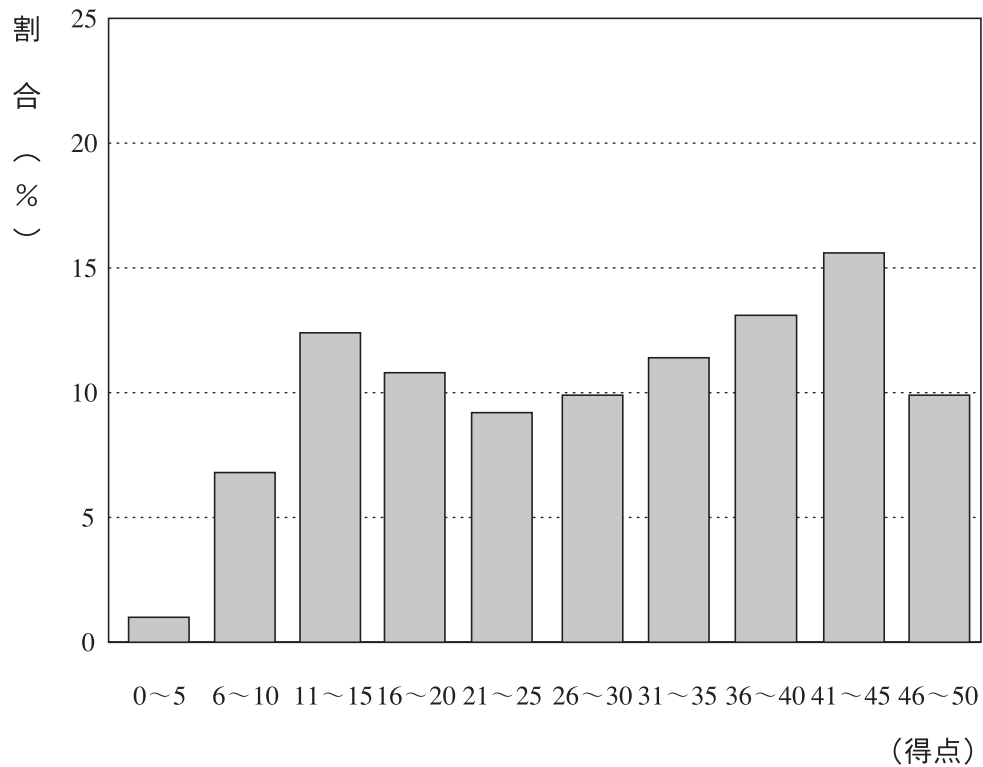
数 学



理 科



英 語



(参考) 学力検査の日程

期 日	時 間	教 科 等
令和 8 年 3 月 5 日 (木)	9:00 ～ 9:30	点呼・受検上の注意
	9:45 ～ 10:30	国 語
	10:50 ～ 11:15	国 語 (作文)
	11:35 ～ 12:25	理 科
	12:25 ～ 13:20	(昼 食)
	13:25 ～ 14:15	社 会
令和 8 年 3 月 6 日 (金)	9:00 ～ 9:30	点呼・受検上の注意
	9:45 ～ 10:35	数 学
	10:55 ～ 11:55	英 語
	11:55 ～ 12:55	(昼 食)
	13:05 ～	面 接

検査時間は、国語70分、英語60分で、社会・数学・理科の3教科はそれぞれ50分である。

なお、国語には25分の独立した時間を設けて作文を課し、英語には10分程度の聞き取りテストを課した。また、面接は、3月6日(金)学力検査終了後、志願者全員に対して実施した。

Ⅱ 各教科ごとの考察

1 国 語

問題のねらい

中学校における学習を通して身に付けた、国語の基礎的・基本的な力を、総合的に評価することができるよう配慮した。

- (一) 論説的文章について、文意の正確な読み取り、段落の構成についての理解、主旨の把握などの点から読解力及び論理的な思考力をみるとともに、文法に関する基礎的事項などが理解できているかをみた。
 - (二) 文学的文章について、登場人物の心情などを読み取る力をみるとともに、表現上の工夫や語句の意味が理解できているかをみた。
 - (三) 言葉への関心を深めることに配慮し、基礎的な漢字を読む力をみた。
 - (四) 言葉の重要度や履修学年に配慮し、基礎的な漢字を書く力をみた。
 - (五) 平易な古文について、内容を読み取る力をみるとともに、歴史的仮名遣いの基礎的事項が理解できているかをみた。
- (作文) 提示されている資料を基に、自分の考えを、条件に従って文章にまとめさせることによって、論理的思考力や表現力をみた。

成 績 概 評

基礎的・基本的な事項については、平素の地道な学習活動の成果をうかがうことができた。今後とも、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにするための指導の充実を期待したい。

- 1 論説的文章の読解については、段落の構成についての理解や主旨の把握など基本的な読解力はおおむね身に付いている。今後とも、文法の基礎的事項に関する知識を身に付けさせるとともに、文意を正確に読み取り、読み取った内容を適切に表現する能力を育成するための指導の充実を期待したい。
- 2 文学的文章の読解・鑑賞については、登場人物の心情を読み取ることはおおむねできている。今後さらに、語彙を豊かにするとともに、表現上の工夫を理解したり、書き手の意図を捉えたりするなど、文学的な文章を読み味わう力や、読み取った内容を条件に従って適切に表現する力を身に付けさせる指導の充実を期待したい。
- 3 漢字の読み書きについては、おおむねできているが、一部力が十分には身に付いていない面も見受けられた。今後とも、語感を磨き、抽象的な概念を表す語句など言葉への関心を深めるとともに、漢字の意味を理解させた上で漢字を正しい字形で書かせる指導の充実を期待したい。
- 4 古文については、歴史的仮名遣いの基礎的事項についての理解はおおむねできている。今後とも、古典を理解する基礎を養い、古典に親しむ態度を育成する指導の充実を期待したい。
- 5 作文については、自分の考えが適切に書かれていないもの、資料を見て気付いたことが書かれていないもの、既習の漢字が適切に使用されていないもの、字数制限を満たしていないものなどが多かった。今後とも、資料に示された事柄をうまく活用して自分の考えに反映させたり、自分の考えに説得力を持たせるための根拠となる具体的な体験を加えたりするなどの論理的思考力・表現力を身に付けさせる指導や、与えられた条件に従って適切に表現する力を身に付けさせる指導、適切な表記や段落分け等の作文の基礎的事項の指導の継続を期待したい。

国 語（調査人数 538人）

問 題			正答率(%)	主 な 誤 答 例
(一)	1	活用の種類	60	ア、ウ
		活用形	39	連用、未然
	2		92	イ、エ
	3		81	ア、ウ
	4		66	他のどんなもの、それは私たちに
	5	a	55	[最初（他の人にも）最後（可能なもの）]、[最初（他の人たち）最後（ような形式）]
		b	47	[最初（自分にしか）最後（ている状態）]、[最初（ユニークで）最後（自分の世界）]
	6		24	楽しんだり評価したりするときに使える便利な言葉になり、ある分野での独自の経験や知識が、効率的な製品の開発につながることもある。
	7		60	主導権があなた自身にあることは変わりません
	8		57	イ、ウ
(二)	1		50	魔、間
	2		85	エ、ア
	3	a	76	多々良の覗くファインダーの中、 節の目立つ、細長く色白な指
		b	83	高らかで、鮮やかな音、 炎が燃え上がるみたい
	4		48	ア、イ
	5		13	姿勢よく、川の流れても眺めるような顔で、明智の初手をじっと見つめている
	6		32	イ、エ
(三)	1		55	まさつ、ましょう
	2		20	こうしゅつ、こうしゅう
	3		97	ぬ、に
	4		98	ふ、と
(四)	1		71	「民集」、「民周」、字形が正しく書かれていないもの
	2		37	「改拳」、「階拳」、字形が正しく書かれていないもの
	3		45	「追う」、「背う」、字形が正しく書かれていないもの
	4		88	「新しい」、「慕しい」、字形が正しく書かれていないもの
(五)	1		89	くちわし、くちおい
	2		28	ア、 エ
	3	a	12	仏の教えのために長柄の橋を渡る、紫の薄様に包まれている物がある
		b	43	ふところより名簿をひきいでて、 この橋の切、たまはらんと申す
		c	32	橋の切、仏供養
作 文	得 点		比率 (%)	
	10		0	・与えられたテーマについての自分の考えが書かれていないもの。
	9		2	・自分の考えの根拠が書かれていないもの。
	8		7	・資料を見て気付いたことが書かれていないもの。
	7		24	・内容に応じた適切な段落分けができていないもの。
	6		26	・誤字・脱字が多く、既習の漢字が適切に使用されていないもの。
	5		20	・字数制限の条件を満たしていないもの。
	4		11	・文章の途中までしか書けていないもの。
	3		5	・表現や表記が適切でないもの。
	2		2	・原稿用紙使用上のきまりが守られていないもの。
	1		2	
	0		1	

2 社 会

問題のねらい

中学校社会科の各分野から出題し、幅広い社会的事象について、基本的な事項の理解や思考力、判断力、表現力等の能力、資料を適切に活用する技能を総合的に評価できるよう配慮した。

- (一) 古代から近世までの我が国の主なできごとや社会の様子について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、資料を活用して思考・判断することができるかをみた。
- (二) 近現代における我が国の主なできごとや社会の様子について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、資料を活用して思考・判断することができるかをみた。
- (三) 基本的人権、日本国憲法の改正手続き、選挙のしくみ、議院内閣制について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、資料を活用して思考・判断した結果を適切に表現することができるかをみた。
- (四) 市場経済と価格の決まり方、経済全体のしくみと政府、社会保障制度、外国為替相場、国際社会の課題について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、資料を活用して思考・判断することができるかをみた。
- (五) 我が国の自然や資源・エネルギーについて、基本的な事項を正しく理解できているか、また、地図や資料を活用して思考・判断することができるかをみた。
- (六) 世界の国々の位置や自然、文化について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、地図や資料を活用して思考・判断した結果を適切に表現することができるかをみた。

成 績 概 評

地理・歴史・公民の各分野において、基本的な事項の理解ができており、中学校での学習活動の成果をうかがうことができた。今後とも、基本的な事項の理解を確かなものにするとともに、資料を適切に活用し思考・判断する力や、思考・判断した結果を適切に表現する力を育てる継続的な指導を期待したい。

- 1 古代と中世の我が国の主なできごとや社会の様子について、基本的な事項の理解ができているとともに、資料を活用して思考・判断する力が身に付いている。近世の主なできごとについては、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。
- 2 現代の我が国の主なできごとについて、基本的な事項の理解ができているとともに、資料を活用して思考・判断する力が身に付いている。近代の我が国の主なできごとについては、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。
- 3 基本的人権、日本国憲法の改正手続き、選挙のしくみについて、基本的な事項の理解ができているとともに、資料を活用して思考・判断する力が身に付いている。議院内閣制については、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。
- 4 経済全体のしくみと政府、国際社会の課題について、基本的な事項の理解ができている。市場経済と価格の決まり方、社会保障制度、外国為替相場については、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。
- 5 我が国の自然や資源・エネルギーについて、基本的な事項の理解ができているとともに、地図や資料を活用して思考・判断する力が身に付いている。
- 6 世界の国々の自然や文化について、基本的な事項の理解ができているとともに、資料を活用して思考・判断した結果を適切に表現する力が身に付いている。世界の国々の位置については、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。

社 会（調査人数 538人）

問 題			正答率(%)	主 な 誤 答 例	
(一)	1		93	天平	
	2		48	イ、エ	
	3		51	北条泰時、源頼朝	
	4		73	ア、ウ	
	5		66	キリスト教を布教する中国とオランダ	
	6		47	ア、ウ	
	7		74	ア・エ、イ・ウ	
(二)	1		17	イ→ウ、イ→ア、ウ→ア	
	2		55	参議院	
	3		63	ア・日本に賠償金が課せられた	
	4		54	伊藤博文、大隈重信	
	5		49	ロシア、オーストリア	
	6		62	ウ、イ	
	7		89	エ、ア	
(三)	1		63	自由、平等	
	2		66	イ・ウ、ア・エ	
	3	(1)	86	間接、匿名	
		(2)	78	C・600、C・200	
	4		57	10日以内に衆議院を総辞職	
	5		62	イ、ウ	
(四)	1		35	寡占・ア、独占・イ	
	2		91	ア	
	3		47	公共の福祉、環境保全	
	4		37	イ・ウ、イ・エ	
	5		64	適正な価格で生産者に販売して自立させる	
(五)	1	(1)	66	カルデラ、太平洋ベルト	
		(2)	特徴	60	岬と湾がある、岬と湾があり良好な漁場となっている
			記号・県名	60	い・福島、え・愛知
		(3)	73	イ・エ	
	2		78	ア・ウ、イ・エ	
	3		62	イ、ア	
(六)	1	(1)	16	い・イラン、い・ギリシア、あ・ノルウェー	
		(2)	64	直線的な山脈や河川を利用した、経線が直線的な	
		(3)	69	アマゾン、ライン	
	2		52	イ・エ、ア・エ	
	3		64	ア・ウ、イ・エ	
	4		82	ウ、エ	

3 数 学

問題のねらい

中学校の数学の全領域にわたって出題し、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できているかをみるとともに、これらを活用して、見通しを持ち筋道を立てて問題解決ができるかを適切に評価できるように配慮した。

- (一) 数と式についての基礎的・基本的な知識及び技能が習得できているかをみた。
- (二) 二次方程式、式の値、関数、回転体の体積、度数分布表、作図、連立方程式についての基礎的・基本的な知識及び技能が習得できているかをみるとともに、これらを活用して問題を解決することができるかをみた。
- (三) カードを用いて勝敗を決めるゲームを題材に、事象の起こりやすさについて考察したり、問題を解決したりすることができるかをみた。
- (四) 図形の面積に関連して、関数についての知識及び技能が習得できているかをみるとともに、これらを活用して問題を解決することができるかをみた。
- (五) 平面図形の論証において、図形を直観的に捉え、数学的な推論により論理的に考察して表現することができるかをみた。

成 績 概 評

計算問題など基礎的・基本的な知識及び技能をみる問題の正答率が高い。一方、関数や図形について考察する問題では、正答率の低いものも見られた。全体的な傾向として、中学校における基礎的・基本的事項の定着を図る指導の充実ぶりがうかがえた。

- 1 数と式についての基礎的な計算問題の成績は良好である。日頃の指導の成果が表れていると言える。
- 2 二次方程式や式の値、関数のグラフに関する基本的事項については、よく理解できているが、回転体の体積を求める問題や作図、連立方程式の基本的事項についての問題では、理解がやや不十分な面が見られた。引き続き、基礎的・基本的な内容の定着を重視するとともに、操作や実験などの活動を積極的に取り入れ、数学的な概念や図形に対する感覚を身に付けさせる指導の充実が望まれる。
- 3 カードを用いて勝敗を決めるゲームを題材に、事象の起こりやすさについて考察する問題については、単純な確率を求める力は身に付いているが、条件を整理し、批判的に考察したり、判断したりする問題において理解がやや不十分な面が見られた。日頃の学習において、日常生活における事象を数理的に考察し、多様な方法で問題の解決を図る態度を育成することが望まれる。
- 4 関数 $y=ax^2$ に関する基本的な性質については理解できているが、発展的な問題において既習事項が十分活用されていない面が見られた。式やグラフで表した結果を用いて新たな問題を考察するといった学習についても、今後の成果を期待したい。
- 5 平面図形の論証については、考察や推論の不明確さが目立った。数学的活動の充実を図り、論理的思考力や直観的判断力を伸ばすとともに、自分の考えを筋道を立てて説明したり、思考の過程を正確に記述したりする力を身に付けさせる指導の充実が望まれる。

数 学 (調査人数 538人)

問 題		正答率(%)	主 な 誤 答 例	
(一)	1	96	- 7	
	2	87	$\frac{1}{6}$ 、 $-\frac{19}{12}$	
	3	86	$2ab$ 、 $-2b$ 、 $-2ab$	
	4	81	$\sqrt{7}$ 、 $-3\sqrt{2}$ 、 $4\sqrt{7}$	
	5	72	$x^2+6x-10$ 、 $3x^2-6x+8$ 、 $7x-2$	
(二)	1	70	12、7、-7	
	2	84	ア、イ、エ	
	3	70	$\frac{1}{2}$ 、2、-1	
	4	43	8π 、 32π 、 $\frac{8}{3}\pi$	
	5	63	0.27、0.16、0.4	
	6	45	作図が正しくできていないもの	
	7	37	連立方程式の立式が正しくできていないもの	
(三)	1	53	I、IIが正しくできていないもの	
	2	25	$(\frac{3}{8}, \frac{3}{8}, \text{ウ})$ 、 $(\frac{1}{2}, \frac{1}{2}, \text{ウ})$ 、 $(\frac{5}{16}, \frac{7}{16}, \text{イ})$	
	3	14	$(\text{イ}, \frac{3}{4})$ 、 $(\text{イ}, \frac{1}{2})$ 、 $(\text{ア}, \frac{5}{16})$	
(四)	1	$x=2$ のとき	66	3、2、-1
		$x=5$ のとき	44	15 、 $\frac{75}{2}$ 、 $\frac{45}{2}$
	2		40	$y=4x$ 、 $y=\frac{3}{2}x$ 、 $0\leq y\leq 24$
	3	a	54	5、4、7
		b	43	8、6、12
	4		11	$(3, 7)$ 、 $(\sqrt{14}, \frac{7}{2})$ 、 $\sqrt{14}$
(五)	1	(1)	61	(イ、エ)、(オ、ア)、(ア、ウ)
		(2)	72	ア、ウ、エ
	2	(1)	35	正しく筋道を立てて証明することができていないもの
		(2)	1	7、5、 $5\sqrt{7}$

4 理 科

問題のねらい

中学校理科の各分野から出題し、自然の事物・現象に対する基本的な概念や原理・法則が理解できているかをみるとともに、観察、実験に関する基本的な技能を身に付け、科学的に探究するために必要な資質・能力が養われているかを評価できるよう配慮した。

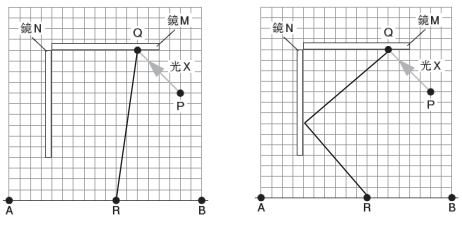
- (一) 光の反射についての実験を通して、科学的な見方や考え方が身に付いているかをみるとともに、回路の電流や電圧の規則性を調べる実験を通して、電流の基本的な事項が理解できているかをみた。
- (二) 蒸留についての実験を通して、状態変化について科学的に探究する能力が身に付いているかをみるとともに、金属の酸化について、実験結果から金属の質量と反応する酸素の質量との関係についての論理的な考え方が身に付いているかをみた。
- (三) 血液の流れの観察を通して、血液の循環に関する基本的な事項が理解できているかをみるとともに、花粉管の観察を通して、生物の成長や殖え方についての論理的な考え方が身に付いているかをみた。
- (四) 地震の揺れや伝わり方の規則性について科学的な見方や考え方をすることができるかをみるとともに、地球の自転・公転と天体の動きとの関係について論理的に考察して判断する力が身に付いているかをみた。
- (五) 身近な体験や自然の事物・現象に進んで関わり、観察、実験を通して、科学的な視点で捉え、科学的に探究する力と態度が養われているかをみた。

成 績 概 評

各分野の基礎的・基本的事項はおおむね理解できており、日頃から観察、実験を中心とした体験的な学習活動が進められていることがうかがえた。今後とも、日常生活との関連を図りながら、課題を解決する学習を通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する継続的な指導を期待したい。また、観察や実験の結果を分析して解釈する能力や表現する力を養う指導の充実を期待したい。

- 1 光の反射に関する基本的な事項はおおむね理解できていたが、回路の電流や電圧の規則性については理解がやや不十分であった。今後は、実験を中心とした体験的な学習活動を通して、科学的に考察して判断する力を身に付ける指導の充実を期待したい。
- 2 蒸留についての実験に関する基本的な事項はおおむね理解できていたが、金属の質量と反応する酸素の質量との関係についての基本的な事項は理解がやや不十分であった。今後は、目的意識を持って観察、実験を行う態度を養うとともに、科学的に考察して判断する力を身に付ける指導の充実を期待したい。
- 3 生物の成長や殖え方に関する基本的な事項はよく理解できていたが、血液の循環に関する事項は理解がやや不十分な面が見られた。今後とも、科学的な見方や考え方を意識して主体的に観察や実験に取り組ませるなど、生物に対する興味・関心を高める継続した指導を期待したい。
- 4 地震の揺れや伝わり方の規則性に関する基本的な事項はおおむね理解できていたが、地球の自転・公転と天体の動きとの関係についての基本的な事項は理解がやや不十分であった。今後とも、継続的な観察を通して、天体の位置関係や動きについての科学的な見方や相対的な見方ができるよう指導の継続を期待したい。
- 5 身近な体験や科学的事象については理解がやや不十分な面が見られた。今後は、観察や実験を通して、自然を科学的に調べる能力・態度を育てるとともに、科学的な知識と実生活における体験とを関連付けさせることを重視した指導の充実を期待したい。

理 科 (調査人数 538人)

問 題			正答率(%)	主 な 誤 答 例
(一)	1	(1)	71	
		(2)	45	45、180
		(3) ①と②	46	①イ ②2、①イ ②5
	2	(1) ①と②	46	①ア ②ウ、①ア ②エ
		(2)	57	2 : 1、3 : 2
		(3) ①と②	13	①6.0 ②6.0、①4.0 ②6.0
		(4)	17	25、15
(二)	1	(1)	67	再結晶、蒸散
		(2)	70	エ、ウ
		(3) ①と②	65	①ア ②エ、①ア ②ウ
		(4) 火を近づけたときの結果と理由	26	(結果)燃えない (理由)試験管Bの液体よりもエタノールの割合が大きい (結果)燃えない (理由)試験管Bの液体のエタノールの割合が大きい
	2	(1)	54	$\text{Cu} + \text{O}_2 \rightarrow \text{CuO}$ 、 $\text{Cu} + \text{O} \rightarrow \text{CuO}$
		(2)	67	2 : 3、4 : 1
		(3)	56	0.80、4.80
		(4)	6	0.98、1.0
(三)	1	(1)	87	エ、ア
		(2) ①と②と③	32	①イ ②イ ③ア、①イ ②ア ③イ
		(3)	58	白血球、赤血球
		(4)	33	肝臓で尿素になり、腎臓で蓄えられて肝臓と腎臓を通して尿素となり
	2	(1) ①と②	75	①ア ②ウ、①イ ②エ
		(2) ①	80	やく、おしべ
		(2) ②と③	79	②ア ③ウ、②イ ③エ
		(3)	50	ウ、ア
(四)	1	(1) ①と②	76	①ア ②ウ、①イ ②エ
		(2)	52	5時35分15秒、5時35分11秒
		(3)	75	ウ、ア
		(4)	46	イ、ア
	2	(1)	49	ア、エ
		(2) ①と②	23	①イ ②エ、①ア ②エ
		(3)	37	イ、ウ
		(4)	28	輝いて見える部分の割合が大きくなり、見かけの大きさは小さくなる 輝いて見える部分の割合が大きくなり、見かけの大きさは大きく見える
(五)	1	(1)	26	20、5
		(2) ①と②	10	①イ ②ア、①ウ ②ア
	2	(1) aとbとc	65	a○ b× c×、a× b○ c○
		(2) ①と②	59	①ア ②ウ、①ア ②エ
	3	(1) ①と②	42	①イ ②ウ、①ア ②エ
		(2)	47	銅→亜鉛→金属X、亜鉛→銅→金属X
	4	(1) ①と②	55	①イ ②27、①ア ②85
		(2)	26	イ、ウ

5 英 語

問題のねらい

中学校で学習した英語の全領域にわたって出題し、基礎的・基本的な事項に重点を置くとともに、言語活動の成果が十分評価できるよう配慮した。

- (一) 日常見聞きする身近な対象を描いている絵を見ながら、短い対話を聞いて、その内容を正しく聞き取る力をみた。
- (二) 身近な場面で行われている短い対話を聞き、適切な応答を選ぶことを通して、対話の流れを正しく理解する力をみた。
- (三) 比較的長い英文を聞き、話題の中心を捉えて、その内容を正しく聞き取る力をみた。
- (四) 日頃のコミュニケーション活動でよく使われる表現について、その内容を理解し、自然な対話となるように英文を正しく完成したり、今までに、身近な人のためにしたことなどを、適切な英文で書いたりすることを通して、基本的な語彙力が身に付いているかをみるとともに、表現力をみた。
- (五) 比較的長い対話文を読んで、対話の流れに合うように適切な英文を当てはめたり、適切な英文を書いたりすることなどを通して、文脈に応じて思考、表現することができるかをみた。
- (六) 長い英文を読んで、その概要や中心となる話題を的確に読み取ったり、文と文との関係を理解したりする力など、英語に関する総合的な力をみた。

成 績 概 評

基礎的・基本的な事項はおおむね理解できており、平素の言語活動を大切にする指導の成果がうかがえた。今後とも、英語表現に関する基礎的な能力や主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に努めるとともに、五つの領域の言語活動を総合的に行い、調和のとれた能力を育成する指導を期待したい。

- 1 絵を見ながら短い対話を聞き取る問題、身近な場面で行われている短い対話を聞き適切な応答を選ぶ問題は全体的によくできていた。平素の望ましい言語活動の成果がうかがえた。
- 2 比較的長い英文を聞き取る問題はおおむねよくできていたが、少し複雑な英文については、内容の理解が不十分な面が見られた。今後とも、聞くことを大切にする指導を行い、まとまりのある文章の概要や要点を聞き取る力を育成することが一層望まれる。
- 3 日頃のコミュニケーション活動でよく使われる基本的な表現について英文を完成させる問題は、おおむねできていたが、今までに、身近な人のためにしたことや、そのとき思ったことなどを適切な英文で書く問題については、文構造の理解が不十分な面が見られた。今後とも、英文で的確に表現する力の育成について、指導の充実を期待したい。
- 4 比較的長い対話文の問題では、内容の理解はおおむねできていたが、文脈に応じて英文を書く問題では、基本的な語法上の誤りが多かった。今後とも、英文を読んで書かれた内容や考えなどを捉える力を育成するとともに、英文を適切に書く力を育成する指導の継続を期待したい。
- 5 長文の問題では、文の内容の理解はおおむねできており、読解力を高める指導の成果がうかがえた。今後とも、まとまりのある文章を読んで、その概要や中心となる話題を捉えたり、文と文との関係に留意しながら論理的推論によって内容を正しく理解したりする力など、総合的な読解力の養成を一層期待したい。

英 語（調査人数 538人）

問 題		正答率(%)	主 な 誤 答 例
(一)	1	99	イ
	2	88	ア
	3	90	ウ
(二)	1	81	ア
	2	73	エ
(三)	1	63	イ
	2	71	ア
	3	52	ア
	4	68	ア
(四)	1	(1)	13 ウエアイ
		(2)	52 イウエア
	2	(1)	15 動詞の基本的用法の誤り（It is make me…など）、文構造上の誤りなど
		(2)	42 綴りの誤り（sporte、whot など）、語数不足 など
(五)	1	①	51 ア
		②	76 エ
		③	69 ア
	2	(ア)	11 This is performance very see. など
		(イ)	29 They can there go to the bus. など
	3		36 ウ
	4	(1)	56 ア
		(2)	66 イ
		(3)	62 ウ
(六)	1		61 ア
	2		64 ウ
	3	①	52 become smaller because など
		②	67 another picture など
	4		44 ア
	5		33 オ カ
	6		68 イ